

平成 17 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 8	学校名	県立友部養護学校						課 程	全日制 普通科				学校長名	片田 政博					
教 頭 名	永山 正文			梅原 晶											事務長名	坂場 政己				
教職員数	教諭	77	養護教諭	2	常勤講師	10	非常勤講師	2	実習助手	2	寄宿舎指導員	20	事務職員	3	栄養職員	1	技術職員等	8	計	125
児童生徒数	部	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		合 計		合計学級数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	小学部	12	4	3	1	9	6	9	4	6	2	4	3	43	20	16				
	中学部	8	1	13	6	9	2								30	9	9			
	高等部	20	6	19	7	15	8								54	21	13			

2 目指す学校像

本校に“関わるすべての者”が、「本校で良かった」といつでも感じられる学校
 そんな学校にしようと“関わるすべての者”が、主体的に動く学校

- (1) 児童生徒の表情が明るく、楽しく学ぶ学校
- (2) 保護者が安心して子どもを通わせ、気楽に相談する学校
- (3) 教職員がさわやかで、働きがいのある学校
- (4) 地域の期待に添える学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
生活・学習指導	素直さを生かした，発達段階に適した課題の選択と目標の設定が望まれる。	・実態把握の精密さと個別の指導計画の活用による授業づくり
保護者の理解	我が子を正しく理解しようとする積極的な姿勢が望まれる。	・個別の教育支援計画を活用した正しい理解と認識 ・保護者が納得いく授業の展開
専門性の向上	研究的に校務を処理しようとする積極的な姿勢が望まれる。	・能率的な校務処理と責任・協力体制の確立 ・創意と工夫のある実践的力量的向上
地域支援	地域の期待に添う支援体制の整備が必要である。 コーディネーターを6名配置した。	・地域のニーズの把握と積極的な対応体制の確立，校内の理解 ・卒業生の動向の把握と敏速な対応

4 中期的目標

(1) 学習目標の設定及び学習内容の配列の適正化を図った教育課程を編成する。
(2) 保護者の授業参観及び保護者会，個別面談等の相談を改善・工夫し，子育て支援の充実を図る。
(3) 先例・伝統を基本とし，考え方や実践の改善に努め，責任と協力体制のある仕事研究集団としての充実を図る。
(4) 地域支援体制の確立を図ると共に，地域における個別の教育支援計画の作成・充実を図る。

5 本年度の重点目標

重点目標	具体的目標	達成状況
個に適した課題の明確化を図り，実態に即した教育課程の編成を図る。	個別の指導計画の充実を図り，個に適した指導に努め，教育課程の運営改善に努める。	
保護者の子の理解と知的障害教育への理解を推進し，保護者の子育て支援の充実を図る。	保護者へ適切な情報提供を行い，意見等の把握に努め，将来を見据えた支援に努める。	
校務分掌組織を生かし，仕事人としての責任と協力体制の充実を図る。	研究課題を中心とした，授業の工夫と改善を図り，分かる授業の展開に努める。	
地域への支援体制と地域からの支援体制の整備の充実を図る。	関係機関の連携に積極的に関わり，地域の特別支援連携協議会の設立準備に努める。	

